

政治はどっく

朝日新聞編集委員

星 ほし

浩 ひろし

- *被災地を狙う暴力団
- *非常事態と服務規程
- *長い野党暮らしの咎
- *稚拙な官僚の使い方
- *動き出す「ポスト菅」政局
- *三元方程式の解は
- *ただでは転ばない人
- *「アイ・シンク・メディア」に
- *小選挙区制は悪くない
- *急がれる若手人材の育成



浅野 では、開会いたします。（拍手）

毎年夏の暑いときに星さんにおいていただくことが多いので申し訳ないと思っておりますが、秋まで待てずについつい夏になっております。ご紹介の必要はないと思いますが、星さんはご出身が福島で、福島高校卒業ですけれども、7月1日にこちらで講演された飯舘村の菅野村長も福島高校です。星さんも飯舘村にはしばしばおいでになっているとのこと、何か因縁を感じますね。

最近の政局はちっとも面白くないので取材する意欲がわきにくいそうですが、今日は、本来の政治のあり方を含めて明快なお話が伺えると思います。この『日本と日本人の10大問題』という本を三笠書房から3月に出されています。

政治も政局もその後、ちっとも進歩していませんから、依然としてここに書いてあるとおりになっています。よろしければお買い求めください。『経済倶楽部講演録』5月号の「読書通信」でもこの本を取り上げましたので、参照いただければと思います。それでは星さん、よろしく願います。（拍手）

星 皆さん、こんにちは。ごぶさたしております。今ご紹介があったとおりで、どうも最近では、政局のほうもあまりぱっとしませんので、どういってお話をしたらいいかなと考えてきたところですが、光栄にも今月は、5回の講演のうち2回をわが福島高校の出身者で占めることになりました。

菅野村長は昭和21年生まれでして、私は30年